

デジタル操業日誌の開発

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

1 部門名

水産業－資源管理－漁船

2 担当者名

坂本 啓

3 要旨

当センターは、これまで紙媒体の操業情報から資源解析等を行ってきたが、整理・解析に1年以上の期間を要してきた。そこで、沖合底びき網漁業、船びき網漁業において、タブレットを活用して、迅速かつ効率的に操業情報の収集するデジタル操業日誌を開発した。

- (1) デジタル操業日誌は、自動で収集する GPS・水温情報と漁業者が入力する操業時刻・魚種別漁獲量を専用サーバに自動で送信するシステムであり、操業中でも操作しやすい簡便な仕様に設計とした (図 1)。
- (2) 収録した自船の水温、GPS 情報はタブレットで確認することができる (図 2)。底水温は、甲板に網が揚がった後に確認でき、GPS 情報は常に更新しながら表示され、漁獲情報の入力後は、指定した魚種の漁獲量をマップに表示することができる。



図 1 沖合底びき網漁業のタブレットを活用したデジタル操業日誌



図 2 タブレットに表示される (a) 底水温情報, (b) GPS 情報

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 30 年度～令和 2 年度
- (2) 研究課題名 海況予測技術に関する研究

5 主な参考文献・資料

- (1) なし

* 本研究は「食料生産地域再生のための先端技術展開事業のうち現地実証研究委託事業 (農水省) JPJ000418」の成果である。